

秋のクビアカツヤカミキリ対策について

令和8年9月
農業技術課
JAグループ山梨

あなたの園、大丈夫ですか？ 樹の幹を今すぐチェックしましょう！

県内でモモ、スモモ、ウメ、サクラ等に被害を及ぼす害虫「クビアカツヤカミキリ」の発生が確認されました。

被害の拡大を防ぐためには、年間を通じた対策が重要です。晩夏から秋にかけては、園地の見回りによる早期発見がポイントとなります。

今一度、自園を見回り、各樹の状況を確認してください。



成虫は6～8月に発生

1 対象樹種

モモ、スモモ、ウメ、オウトウなど

2 早期発見のための確認点

- ☑ 樹からフラス(木くずと糞が混じったもの)が出ていないか確認する。
- ☑ 特に、株元や主幹部からフラスが出ていないか注意して確認する。
- ☑ 幼虫の活動が活発な秋季(9～10月)に、フラスの発生状況を重点的に確認する。
- ☑ 発生地点の周辺では、園地だけでなく周辺樹木(サクラ)も確認する。

【クビアカツヤカミキリのフラス】

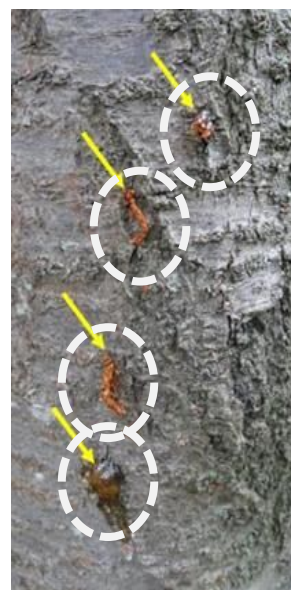


幼虫が入り込んだ樹木では、
太く長くつながるうどん状のフ
ラスが排出される。

写真提供：埼玉県環境科学国際セ
ンター



本年食入した若齢幼虫
の細いフラス



若齢幼虫の細いフラス

写真提供：埼玉県環境
科学国際センター

3 フラスが確認された場合

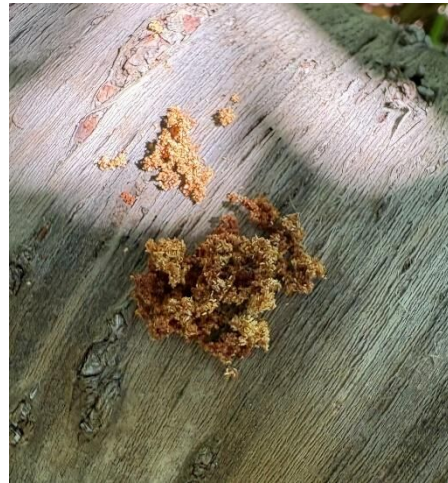
- ① JAや県農務事務所などの指導機関へ連絡する。
- ② フラスが出ている穴に針金を入れて刺殺するなど防除を行う。
- ③ 来年の成虫発生期までに、樹幹部を防虫ネット(目合い4mm以下)で覆う。
- ④ 被害が著しい木は伐採し、適切に処分する。切り株を残す場合は、ビニールシー
ト等で覆う。

ほ場をよく見回り、被害樹の早期発見と徹底防除を行いましょう！

1年目の若齢幼虫のフラス



2年目のフラス



多発樹 全体に植込被害

